授業科目名	子ども生活学概論	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	前期
学部学科等	子ども生活学部子ども生活学科	曜日	木曜日
必修選択区分	必修	時限（時間）	2 時限（10 時 50 分～12 時 20 分）
標準対象年次	１年次	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	長坂キャンパス
担当教員名	牧野カツコ　教授		
電話番号 （代表者名）	028-649-0511 （教務課　須藤）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず，電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の概要＞
子どもの育つ力と発達，子どもと父親・母親，家族，子どもの育つ環境としての地域，保育所，幼稚園の役割，など子どもと子どもを取りまく環境について総合的な視野を持つことの大切さを理解する。子どもの発達を支える保育者として，親や地域の子育て支援を実践できる力を身につける。
＜到達目標＞
子どもの成長と発達の概要を知り、父親・母親，家族，子どもの育つ環境としての地域などについて、現状と課題を理解する。特に日本の子どもの育つ環境としての家族の変化と父親、母親の役割、地域の人々の役割などについて、課題を発見し、問題点を調べ、どのようなあり方がよいかについて考察することができる。また子どもの発達を支えるさまざまな仕事や職業、社会の仕組みについて理解を深める。
＜授業計画＞
第 1 週　子どもとは
第 2 週　子どもの育つ力と発達
第 3 週　子ども達の発達は、今
第 4 週　家族と子育ての歴史
第 5 週　母親の役割
第 6 週　父親の役割
第 7 週　家族関係と子どもの発達
第 8 週　地域社会と子どもの育ち
第 9 週　生活環境と子どもの育ち
第 10 週　子どもと親を支援する
第 11 週　子どもの権利を守る社会の仕組み
第 12 週　諸外国の家族と子育て支援
第 13 週　これからの子どもの生活と課題　（乳幼児期）
第 14 週　これからの子どもの生活と課題（学童期・青年期）
第 15 週　子どもを育む仕事

＜教科書参考書教材と入手方法＞
牧野カツコ編著「人間の発達と保育」東京書籍
牧野カツコ他編著「国際比較にみる：世界の家族と子育て」ミネルヴァ書房
牧野カツコ編「子どもの育ちと保育」金子書房
小口尚子・福岡鮎美「子どもによる・子どものための権利条約」小学館

＜成績評価法＞
毎回の授業でのワークシートの記入(20%)、授業中の討論、話し合いへの参加（20%）
『子ども生活レポート』の作成と発表(30%)、期末レポート（30%)、期末レポートでは、授業で配布される資料、返却されたワークシートがきちんとファイルされて授業の記録ができているかどうかが評価される。